

## 出版デジタル機構、コンテンツ製作支援ソリューション

# Picassol (ピカソル) にオリジナル辞書機能を追加

## あわせてWordへの変換ツール(Picassol Re Word)の提供を開始

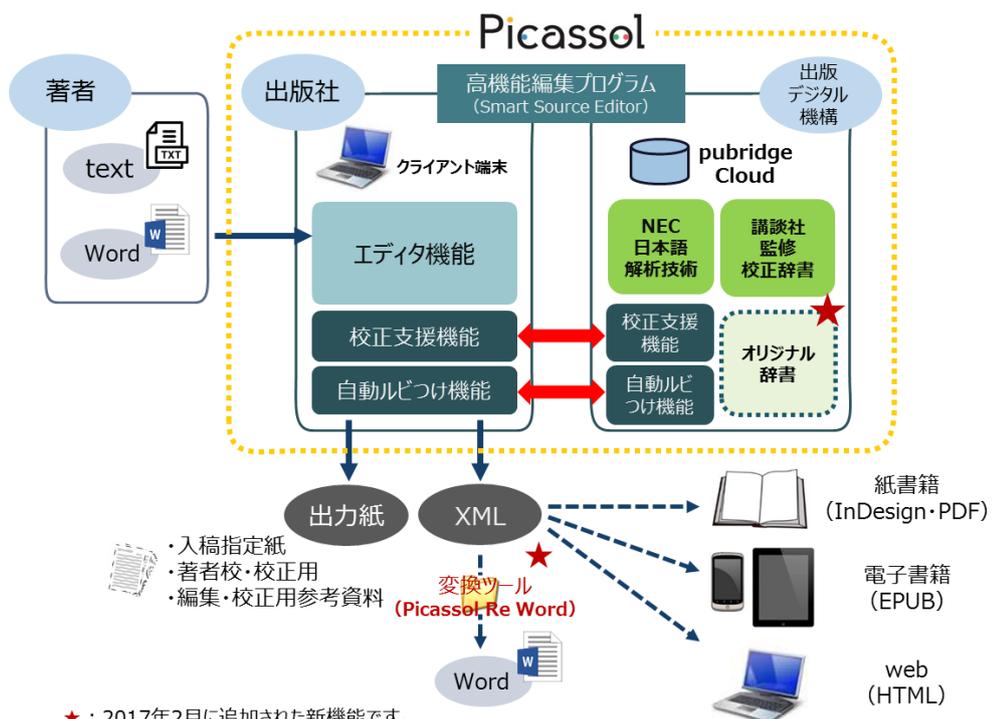
株式会社出版デジタル機構(東京都千代田区神田錦町、代表取締役社長 新名新、以下 出版デジタル機構)は、2016年9月にサービス提供を開始したコンテンツ製作支援ソリューションPicassol(ピカソル)に新機能を追加致します。

この度、追加された新機能は、お客様ごとにオリジナル辞書(専門辞書・ルビつけ用辞書など)を登録・管理できる機能です。お客様独自の用語基準や固有名詞などの頻出用語を登録することにより、Picassolに標準搭載されている辞書とあわせて、より精度の高い編集・校正支援機能がご利用いただけるようになります。これにより、さらなる編集・入稿作業の効率化に寄与することができるものと考えております。

また、数多くのお客様よりご要望をいただいております汎用テキストデータ(独自仕様XML)をWord形式(.docx)に変換するツール(Picassol Re Word)のご提供も開始致します。このツールを使用することにより、Picassol 作業後のデータをWord形式でやりとりすることが可能となり、ご利用用途がさらに広がります。

今後も出版デジタル機構は、電子書籍やPODの流通はもちろん、Picassol やNetGalleyをはじめとした新規事業を通して、紙と電子の双方においてデジタルテクノロジーによる出版業界の活性化をはかると共に、社会、文化の発展に寄与してまいります。

### ■導入イメージ



#### <Picassol(ピカソル)について>

Picassol は、一つのコンテンツファイルから多様な出力を可能とするコンテンツファーストの実現をめざして、株式会社講談社と日本電気株式会社が共同開発した原稿作成・編集ソフト Smart Source Editor をベースに開発されたサービスです。2016 年 9 月に当社サービス基盤の pubridge Cloud 上で展開し、みなさまに手軽に安価でお使いいただいております。

\*Picassol とは、「pubridge Intellectual Property Create Assistance Solution」の略です。

#### <株式会社出版デジタル機構について>

出版デジタル機構は、電子出版ビジネスのインフラ提供(電子書籍製作代行から取次・配信、アーカイビング等)を通して電子書籍市場を拡大することを第一の目的として 2012 年 4 月に設立されました。以来、電子取次事業においては 1,000 社以上の出版社、および 50 社(700 サイト)以上の電子書店と連携し、40 万点以上の電子書籍データを流通させ、国内電子書籍市場の拡大を推進してまいりました。

サービス名称の「pubridge(パブリッジ)」は、Publish(出版)と Bridge(橋)を組み合わせた造語。

商号:株式会社出版デジタル機構(サービス名称:パブリッジ) 代表取締役社長:新名新 設立:2012 年 4 月 2 日

資本金:13 億 5,862 万 5 千円 URL:<http://www.pubridge.jp>

※Word は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

※Smart Source Editor(スマート・ソース・エディター)は、株式会社講談社の登録商標です。

このリリースに関するお問い合わせは出版デジタル機構(宮武、山田)までお願い致します。

TEL:03-6837-1875 MAIL:press@pubridge.jp